

新型コロナウイルスによる生乳需給への影響を鑑み、直近の飲用等向けの販売状況の推移を中心に毎週発信してまいります。

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《牛乳消費は変わらず堅調～春先の需給緩和に向けて需要拡大の取り組み強化を～》

- ・2/15週の牛乳類の家庭内消費については、前週(2/8週)からさらに伸び率が拡大し、牛乳を中心に各品目とも堅調に推移している。
- ・ヨーグルトのドリンクタイプ・個食タイプについては引き続き低調に推移しているものの、大容量タイプについては前年を上回って推移している。また、家庭用バターについては再び伸び率が大きく拡大しており、底堅い家庭内需要があるものと考えられる。
- ・なお、大消費地である1都3県においては、緊急事態宣言の早期解除は見送られる見通しとなっており、業務用需要は厳しい状況が続くものと想定される。需要動向が不透明な中、生乳需給が緩和する恐れのある年度末以降に向けて、家庭用を中心に需要拡大の取組みを継続してゆくことが重要となる。

【牛乳類の販売速報(推定値)：インテージSRI+】

(1)直近の動向(表①参照)

・直近(2/15週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳：同107.0%、成分調整牛乳：同103.7%、加工乳：同98.9%、乳飲料：同101.5%。

牛乳類トータルでは同105.8%と伸び率は拡大。

・販売単価は、牛乳：189.1円、成分調整牛乳：172.5円、加工乳：188.1円、乳飲料：150.3円。

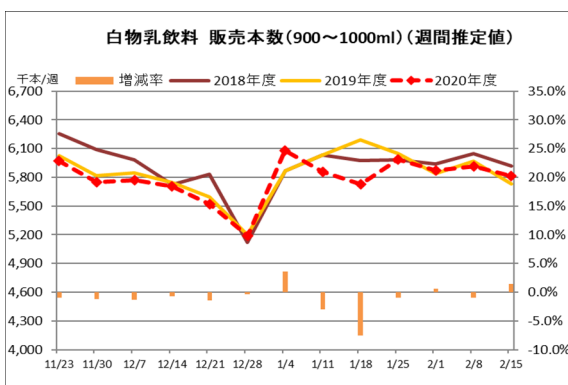
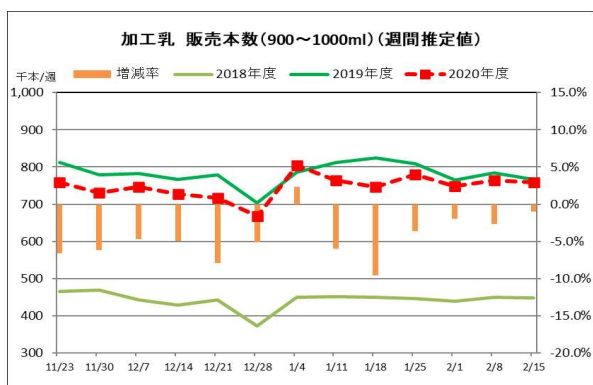
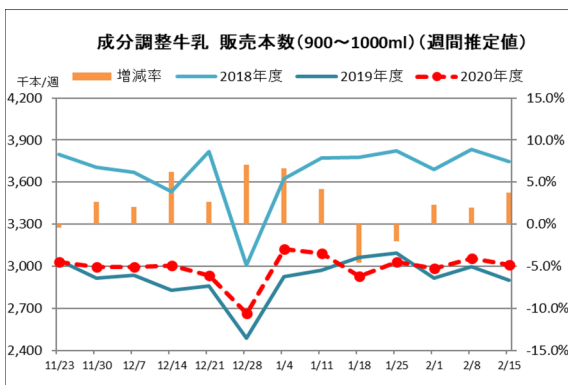
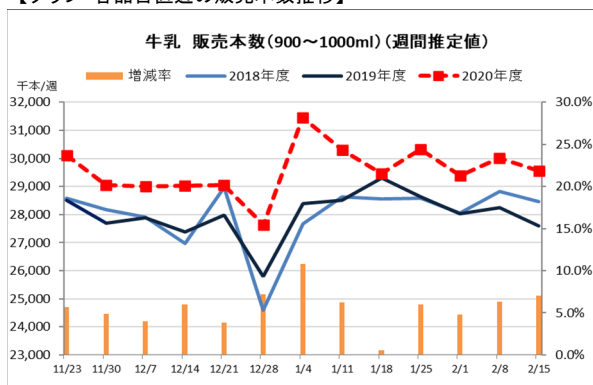
(2)牛乳・成分調整牛乳は、前週(2/8週)より伸び率が拡大し、乳飲料も前年を上回った。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位：千個、円)

品目	区分	12.7-	12.14-	12.21-	12.28-	1.4-	1.11-	1.18-	1.25-	2.1-	2.8-	2.15-
トータル	販売個数	38,528	38,454	38,221	36,149	41,466	40,017	38,849	40,134	38,984	39,749	39,128
	販売個数前年比	102.8	104.7	102.7	105.8	109.2	104.4	98.6	104.0	103.8	104.6	105.8
	販売単価	181.8	182.0	182.6	183.5	182.7	182.6	182.2	182.0	182.1	182.0	182.1
牛乳	販売個数	29,015	29,017	29,051	27,634	31,460	30,302	29,453	30,336	29,376	30,016	29,549
	販売個数前年比	104.0	106.0	103.8	107.2	110.8	106.3	100.5	106.0	104.8	106.3	107.0
	販売単価	189.1	189.1	189.4	190.3	189.7	189.5	189.1	189.1	189.3	189.1	189.1
成分調整牛乳	販売個数	2,993	3,006	2,936	2,662	3,122	3,094	2,926	3,032	2,984	3,055	3,008
	販売個数前年比	102.0	106.2	102.6	107.1	106.6	104.2	95.4	98.0	102.3	102.0	103.7
	販売単価	172.0	171.8	172.9	173.1	173.3	172.6	173.0	172.7	172.3	172.4	172.5
加工乳	販売個数	746	728	717	667	804	764	746	779	749	764	758
	販売個数前年比	95.3	95.0	92.1	94.8	102.4	93.9	90.4	96.5	98.1	97.2	98.9
	販売単価	187.1	189.0	189.6	191.5	188.5	189.8	188.1	187.4	188.7	187.4	188.1
乳飲料	販売個数	5,774	5,703	5,518	5,186	6,081	5,857	5,725	5,987	5,874	5,914	5,814
	販売個数前年比	98.7	99.3	98.6	99.7	103.6	97.1	92.4	99.0	100.6	99.1	101.5
	販売単価	150.0	150.2	151.1	151.8	150.8	150.9	150.5	150.1	150.6	150.2	150.3

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近の動向(表②参照)

直近(2/15週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%未満、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同100%以上。

(2)ドリンクタイプ・個食タイプは低調に推移しているが、大容量タイプは引き続き前年を上回っている。

【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	12.7-	12.14-	12.21-	12.28-	1.4-	1.11-	1.18-	1.25-	2.1-	2.8-	2.15-
ドリンクタイプ	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
個食タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↓	↘	↘	↘	↘
大容量タイプ	→	→	→	↗	→	→	↘	→	→	→	→

 : 前年比90%未満	 : 前年比105%以上110%未満
 : 前年比90%以上100%未満	 : 前年比110%以上120%未満
 : 前年比100%以上105%未満	 : 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

※本データの収集・分析は、2020年度生乳需要基盤確保事業を活用し実施しております。